

3月「卒業式」

3月15日(月)、卒業式が厳かにとり行われました。

新型コロナウイルス感染症の問題から、今年は、6年生とその保護者のみが体育館に集まり、下級生は自分たちの教室から校内テレビ放送を通じて、式を見守る形となりました。

この日、6年生が登校すると、5年生が教室に入り、お祝いの言葉をかけてくれました。そして、6年生1人1人の胸にコサージュをつけてくれました。コサージュをつけてもらった6年生の顔は、みんな晴れやかでした。



準備が整うと、6年生は体育館へ移動しました。着席後、しばらくして保護者が入場し、式が始まるのを待ちました。



国歌と校歌斉唱に続いて、いよいよ卒業証書の授与が始まりました。

担任の先生の呼び出しに、子どもたちは、大きな声で返事をし、背筋を伸ばして起立しました。静まりかえった体育館に、透き通った声が響き渡りまし

た。気持ちの良い緊張感でした。卒業証書は、各クラスの代表1人ずつが校長先生から受け取りました。全員が堂々とした態度でした。



続いて校長先生から、「修学旅行で体験学習した若狭塗り箸の研ぎ出し作業を思い出してください。研いで出てくるのは塗り重ねたものだけです。皆さんは、これからの人生の中で、いろいろな出来事があり、様々な色を塗り重ねていくことでしょう。皆さんの歩む一歩一歩で研ぎ出しを行い、素敵な模様を描き出してください」と、式辞をいただきました。



下級生の別れの歌は、事前に録音したものが披露されました。しかし、録音の歌に合わせて教室でも歌ってくれたその声は、確かに6年生の耳に届いたに違いありません。



6年生も、先生方や下級生、保護者の皆さんに感謝の思いを伝えようと、「旅立ちの日に」を一生懸命歌いました。

子どもたちは、式を終え、退場しました。まなざしを上げ、手を振り、保護者の間を通り、その拍手を受け、誇らしげに体育館を後にしました。



最後の学活は、1組と4組は教室で、2組は高学年多目的スペースで、そして、3組はギャラリーで行いました。

担任の先生から1人1人が卒業証書を授与していただきました。はなむけの言葉に耳を傾けた後は、先生が趣向を凝らして編集した小学校6年間のビデオ上映を万感の思いで見つめました。たくさんの保護者の皆さんに見守られ、子どもたちも幸せそうでした。



【1組】

保護者の皆さんが廊下から子どもたちの様子を熱心に見守ってくださいました。

担任の先生から保護者の皆さんへお祝いと感謝の言葉がありました。



【2組】

広い高学年多目的スペースで、子どもたちを保護者が優しく囲んでくださいました。この後、子どもたちから保護者に感謝の手紙が渡されました。



【3組】

ギャラリーを使いました。少し狭かったですが、先生と子ども、保護者の距離が近く、心の通った学活になりました。



【4組】

担任の先生の最後のお話を、子どもたちは真剣に聞きました。温かい励ましの言葉に感極まって涙する子もいました。

いよいよお別れの時が来ました。あいさつの後、6年生は、先生方の拍手に送られて玄関を出ました。玄関を出た後も、名残惜しく、記念撮影が続きました。先生と、友だちと、そして保護者と…。いたるところで写真撮影が続きました。楽しく微笑ましい光景でした。



みなさん、卒業おめでとう！！

皆さんの未来が明るく幸せなものとなるよう

心から祈っています。

